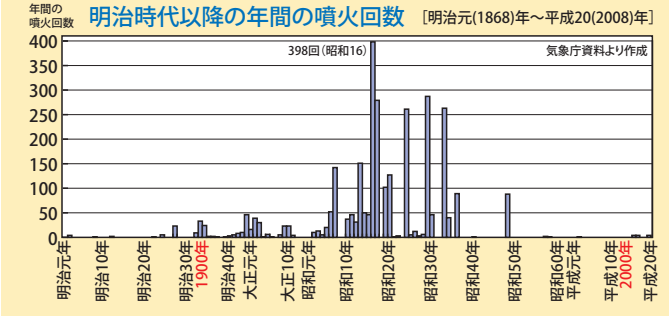


# 浅間山の噴火の特徴

## 天明の噴火

### 明治以降の噴火

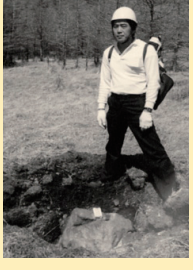
浅間山は、最近20~30年間は比較的静かな状態が続いています。しかし、明治時代から昭和30年代にかけては、噴火をひんぱんに起こしていました。



噴火した場合、火口から4km以内では、50cm程度までの大きな噴石(岩塊)が飛んでくる可能性があります。明治時代以降の噴火で犠牲になった方々は、全て火口から4km以内にいた登山者で、噴石(岩塊)の直撃を受けて亡くなっています。



昭和33(1958)年12月14日の噴火による噴煙の様子



昭和58(1983)年4月8日の噴火で火口から飛来した直径約70cmの噴石。火口から約2kmの湯の平にて。

天明規模の噴火は、今すぐ起こる兆候はありません。天明3(1783)年の噴火は、死者1400人以上、倒壊家屋1000棟以上となる大災害をもたらしました。この噴火が「天明の噴火」と呼ばれ、大規模噴火の象徴ともされています。この規模の噴火は、過去2000年間に3回記録されています。明治以降では、天明規模の噴火の発生はありませんが、将来起きる可能性があります。

## 降灰(火山灰)についての注意

- ❗ 火山灰は風で遠くまで運ばれます。また、風向きによって様々な方向に降ります。平成16(2004)年の噴火の時には、右の図のように風向きによって様々な方向に火山灰が降りました。
- ❗ なるべく家から出ないようにし、やむを得ず外出する場合は、マスクやゴーグルなどでのどや目を守りましょう。大きな健康被害を引き起こすことは少ないですが、ぜんそくや気管支炎などの症状をお持ちの方は、注意が必要です。
- ❗ 窓やドアをしっかりと閉めるようにしましょう。コンピューターや精密機器の故障の原因になります。
- ❗ 火山灰は、とがった結晶質の構造をしているため、ワイパー等でこすると車のフロントガラスに傷がつく恐れがあります。多量の水で洗い流すようにしましょう。
- ❗ 道路が滑りやすくなり、車やバイク、自転車のブレーキが利きにくくなります。また、タイヤで巻き上げられた火山灰などで視界が悪くなります。注意して運転しましょう。



## 浅間山について知るには...

**浅間山の状況を知りたい時やライブカメラの画像を見たい時**

- ▶ 噴火警戒レベルや降灰予報について詳しく知りたい方は気象庁ホームページをご覧ください。  
<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>
- ▶ 利根川水系砂防事務所と長野県佐久建設事務所のホームページでは、ライブカメラで山の様子を見ることができます。  
<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonesui/camera/>  
<http://www.sakuen-asama.jp/>

←利根川水系砂防事務所カメラ  
・浅間山東  
・浅間山西

←長野県佐久建設事務所カメラ  
・黒斑山  
・御代田町役場  
・軽井沢町役場

**各市町村 独自情報欄(例)**

Q 登山規制などについて知るには?  
A 以下のホームページをご覧ください。また、長野新幹線・軽井沢駅の改札口を出た所にも表示されています。

【軽井沢町の例】  
「トップページ」→「各種ごあんない」→「消防・防災・災害対策」→「浅間山噴火予報・警報対策」  
<http://www.town.karuizawa.nagano.jp/ctg/C46/46.html>

【その他の情報項目例】

- ・小諸市ポータルサイト
- ・噴火警戒レベル3の場合の道路規制情報
- ・別荘の方々への情報提供 など

**このマップに関するお問い合わせ先**

●○○市(町村)    △△課    電話 ○○○-○○○-○○○○

**火山の異常をみつけたときの連絡先**

●気象庁浅間山火山防災連絡事務所    電話 0 2 6 7 - 4 5 - 2 1 6 7  
●気象庁火山監視・情報センター    電話 0 3 - 3 2 1 1 - 7 9 5 2